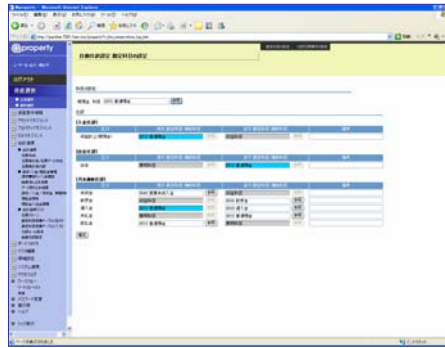


【会計連携】

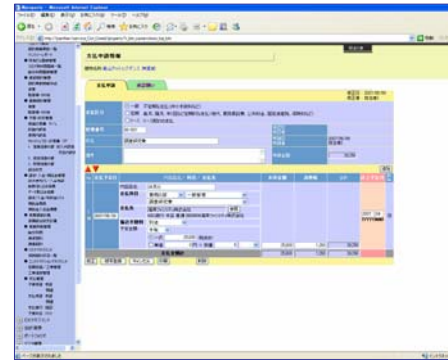
請求・入金操作と支払い操作による結果を自動的に仕訳をして勘定元帳データを作成します。作成した勘定元帳データを、科目ごとの試算表や単独の複合伝票として表示・確認できるほか、他社製の会計パッケージへ転送可能なファイルとして出力することができます。

■ 概要

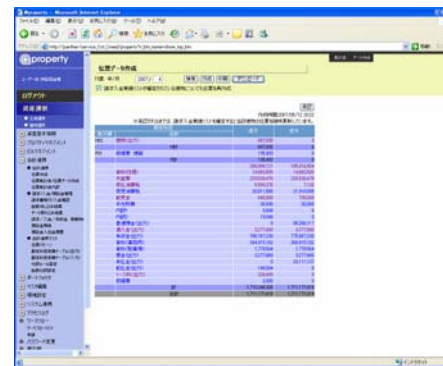
STEP1. マスタ設定(自動仕訳設定など)



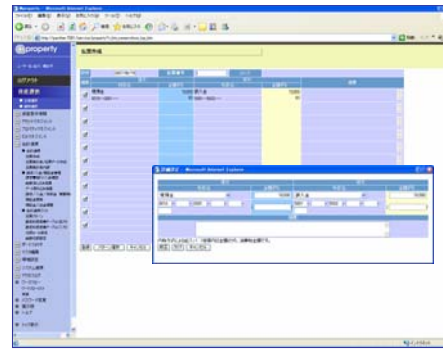
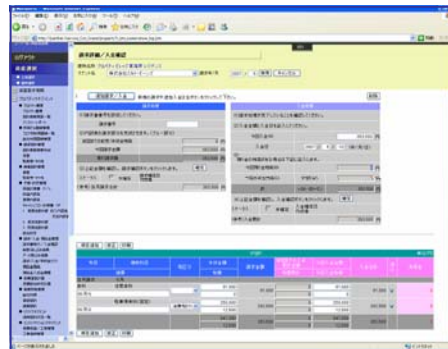
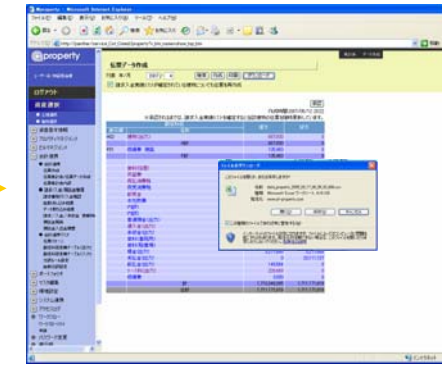
STEP2. 支払申請と実行 請求データ作成と入金消し込み



STEP3. 伝票データの確認・作成



STEP4. 伝票データのダウンロード



請求入金や支払処理実施後、自動で仕訳されるように会計連携実施前に各種設定をする。

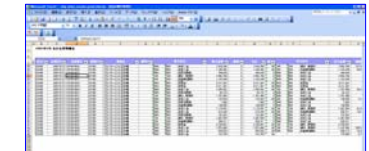
@propertyの標準機能「プロパティマネジメントパッケージ請求入金」を利用して請求データ作成と入金消し込みを行います。

自動仕訳設定をしていない伝票を個別に作成することもできます。個別仕訳パターンを登録し、次回以降、登録したパターンから簡単に設定ができます。

作成した伝票データをCSV形式のファイルで保存します。明細表・集計表をEXCEL形式のファイルにして印刷することもできます。

帳票

「仕訳伝票集計表」「会計伝票明細表」を印刷することができます。



▲仕訳伝票集計表

勘定奉行での ファイル読み込み

別途、勘定奉行側に連携システム(別オプション)を導入することにより、データチェックを兼ねながら@propertyからのファイルを読み込むことができます。

その他システムへの ファイル読み込み※1

他社製会計システムとも、データフォーマットを調整することにより簡単に連携が可能です。

※一部カスタマイズが発生する場合がございます

※1 連携実績

Oracle EBS	glovvia
MONEY会計	PCA会計
SMILE α	SuperStream
勘定奉行	専用開発システム

■ 特徴

●計上月を自動判別

会計を意識することなく日々の業務オペレーションを行うだけで、予め設定されているマスタ情報によりシステムが前受金や未収金を自動で判別して処理します。

●科目変換が可能

@プロパティと会計システムの勘定科目体系を対応づけて交換する機能を有しています。また、補助コードや摘要に建物コードや法人コードを出力する設定が可能です。

●細やかな仕訳ルール設定

本勘定を通さない前受金の仕訳や過入金科目の設定、消費税の設定が調整できるなど、細かい伝票作成ルールが設定できます。

●柔軟な伝票作成が可能

自動仕訳機能を使用せず、手動で伝票を作成することも可能です。個社特有の仕訳伝票を作成することができます。頻りに手動で伝票を作成する場合は、使用頻度の高い伝票パターンを登録しておくことが可能です。

●勘定奉行からのデータインポート機能

任意科目の月次残高を勘定奉行から@プロパティに取り込むことができ、キャッシュフロー表や損益計算書に反映することができます。
* 但し、勘定奉行システムとの連携プログラムを導入いただく必要があります。